

# 開校 150 周年記念式典終わる 令和 5 年 11 月 2 日 (木)



## 挑戦と創造



### イメージキャラクター かみたかっち

令和4年度に、開校150周年に向け、全児童からキャラクター原画を募集しました。

開校120周年記念に建てられた飼育小屋で児童に可愛がられているウサギがモデルになっています。

JRCの行動目標「気づき、考え、実行する」という本校児童の決意も込められています。

150 回目の開校記念日にあたる 11 月 2 日 (木) に多くの御来賓の皆様のご臨席の下、記念式典を挙行了しました。

3 部構成で実施し、第 1 部は「式典」、第 2 部は各学級が演奏を披露する「ハッピー音楽会」、第 3 部は本校の伝統として引き継がれてきた「鼓笛演奏」、そして全児童・職員、御来賓の皆様による「バールンリリース」を行いました。

青い空に吸い込まれていく色とりどりの風船に、これからの本校の益々の発展を願いました。



校長式辞



P T A 会長挨拶



市長祝辞



教育長祝辞



市議会議長祝辞



県議会議員祝辞



## 式典(第1部)



全校児童が集った式典



P T A 会長から記念品を受け取る代表児童



児童代表の言葉



体育館に響きわたった校歌斉唱



壁面には貼られた児童の絵

## 校長式辞

校庭の木々も色づき、秋の深まりを感じるこの佳き日に、幸手市長 木村純夫様、幸手市教育委員会教育長 山西実様をはじめ委員の皆様、幸手市議会議員 枝久保喜八郎様をはじめ市議会議員の皆様、埼玉県議会議員 吉良英敏様、34代校長 藤沼光市様、35代校長 川島俊明様、36代校長 樋口智子様、本校学校運営協議会委員の皆様、上高野地区区長の皆様、幸手市PTA連合会会長 遠藤裕美様、民生、児童委員の皆様のお臨席を賜り、ここに幸手市立上高野小学校150周年記念式典を挙行できますことは、校長として、大変感慨深く、また、大きな喜びでございます。高い席からではございますが、学校を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

本校は、日光街道と御成街道の合流地点であった旧上高野村で、150年前、現在の学校教育制度の始まりである「学制」が發布された翌年、明治6年10月11日に村社であった八坂神社の社掌、梅林寺栄明氏宅において創設され、11月2日、太子堂を校舎に借用して「上高野学校」として開校しました。その後、学校制度の改革、町村合併、市制施行などにより、学校名は数回変更され、校地の変遷や拡張、校舎の増改築なども行われてきました。そのどれもが地域住民の皆様の熱い情熱を支えに成し得られたものであり、本校の今日が築かれてきました。特に大正12年には、埼玉県知事認可による村立図書館を設置し、地域文化の充実も図られました。また、大正14年には、その3年前に誕生した少年赤十字団に県内でもいち早く加盟し、「気づき、考え、実行する」というその精神は、現在も脈々と引き継がれています。

昭和49年に、広い校地の現在の地に校舎が建設され、その後続いて、体育館やプール、給食調理場等の整備が行われた際にも、市当局、市教育委員会をはじめ関係機関の御理解をいただきながら進めてくださった、子どもを愛し、郷土を慈しみ、学校を大切に思う地域の方々の並々な御苦労と御努力に改めて感謝する次第でございます。その思いが、昭和47年に制定された本校校歌に込められています。

開校以来、多くの卒業生が本校を巣立っています。現在の小学校と同様の初等義務教育年限が六か年に定められた明治41年から数え、6419名の卒業生を送り出し、「気づき、考え、実行する」という精神のもと、多くの卒業生が、日本を支える立場で活躍されています。



## ハッピー音楽会(第2部)



4年2組



2年1組



1年1組



5年1組



3年2組



6年2組



3年1組



2年2組



1年2組



4年1組



5年2組



6年1組

学級が一つとなった素晴らしい演奏でした。

さすが、上小の子どもたちと先生方です。

これからも上小の誇りを大切にしていきたいと思います。



全校児童の皆さん。皆さんは今、150年の歴史と伝統の中で、新たな歴史を刻んでいます。そして、本日、この記念すべき時に立ち会えたことをともに喜び、長い歴史と伝統に想いを巡らせ、本校の充実と発展に力を尽くしてこられた多くの方々への感謝の気持ちを忘れてはなりません。

十日ほど前、私に地域の方から一本の電話がありました。私に是非会って話がしたいとのことでしたので、校長室にお越しいただき、お話を伺いました。その方は昭和25年度の卒業生で皆さんの大先輩でした。現在の校舎ができる前の木造校舎で学んでいた当時の思い出や旧上高野村の様子などをとても懐かしそうに話してくださいました。私はお話を伺っているうちに、母校を愛する気持ちと本校で過ごせたことへの誇りを感じ、その思いに引き込まれ、気が付くとずいぶん時間が経っていました。母校への思いというのは色あせないということを改めて強く感じ、本校を温かく見守ってくださっていることへの感謝の念で胸が熱くなりました。

本校で学ぶ皆さんに、御来賓や保護者をはじめ、多くの方々が大きな期待を寄せています。皆さんを愛するたくさんの方々の御期待に応えるためにも、新たな気持ちで、これまで以上に学習や運動に取り組んでいきましょう。そして、今日からまた、上高野小学校の新たな良き伝統を築き上げていきましょう。「挑戦と創造」ますますの頑張りに期待しています。

結びにあたり、本校の発展にお力添え賜りました、幸手市、幸手市教育委員会、幸手市議会をはじめ、歴代の校長先生方、教職員・卒業生・保護者の皆様、そして多くの御支援、御協力を賜りました地域の皆様に、改めて衷心より御礼申し上げます。

教職員、児童一同、決意を新たに、更に大きく飛躍すべく、上高野小学校発展に邁進することをここにお誓い申し上げ、式辞といたします。

令和5年11月2日

幸手市立上高野小学校 第37代校長 森 祥一

# 鼓笛&バルーンリリース (第3部)

上小をリードする5, 6年生の堂々とした演奏



バルーンとともに大きく!!